

「個人質問」一般質問

第十六回（二月）定例会
では、十人の議員が市政
について質問しました。

議員名	主な質問項目	掲載頁
水口 淳	県道沼津土肥整備促進、戸田造船郷土資料博物館 50 周年記念事業	8
霞 恵介	高齢者の健康と福祉、2025 年問題を控えて	8
深田 昇	障害福祉サービスの課題、計画相談、放デイ、高校卒業後の居場所	9
鈴木 秀郷	市役所庁舎等の管理	9
加藤 明子	民法改正による成人式の方向性、ふるさと納税制度	9
小澤 隆	官民連携アプリ、我入道の文化財収蔵庫	9
城内 務	避難所、体育館エアコン、新体力テスト、スポーツ実施率	10
梅沢 弘	民意の根拠、鉄道高架訴訟、330 億円の市債発行、高校生議会	10
中田 孝幸	地震津波対策、防潮堤の効果・整備費、防潮堤と鉄道高架	10
江本 浩二	温室効果ガスの削減	10

※議員名の下に「形式」として質問形式を記載しています。

- 一括：通告した全ての内容を一括して質問した後、市当局が一括して答弁する方式
- 一問一答：議員からの一つ一つの質問ごとに、市当局が答弁する方式
- 複合：1 回目は一括で行い、2 回目以降から一問一答に切り替えて行う方式

2025 年問題に対する本市の取り組みは

問 高齢者の生活形態を鑑みると、医療と介護の連携推進が重要と考えられているが、現在と今後の取り組みは。

答 福祉事務所長 沼津市在宅医療・介護連携推進協議会を設置し、委員として、民生委員、児童委員、医師会、歯科医師会、介護サービス事業関係者、自治会連合会等に参加してもらつとともに、医師会と共催で講演会を実施するなど、在宅医療と介護のあり方への認識を深める取り組みを進めている。今後とも、地域包括支援センターが開催している地域ケア会議で示された課題等の解決に向けて、関係者に対応策の検討

を行い、多職種協働による在宅医療・介護を一体的に提供できる体制づくりに進めていく。

問 二〇二五年問題を見据えた、介護施設供給不足への対応は。

答 福祉事務所長 高齢者保健福祉計画の中で、計画期間内に必要な施設の数を示すとともに、三年ごとに計画を見直し、施設の需要と供給のバランスが図られるよう努めている。また、在宅での介護体制づくりの取り組みもあわせて進めているところであり、今後とも必要となる介護施設等の把握と、多様なサービスの提供体制の強化を進めていく。

県道沼津土肥線の整備促進を

問 県道沼津土肥線は、戸田地区の住民の生活道路としてだけでなく、半島地域や本市全体の観光振興にも大きく寄与する道路であり、早期の整備が必要と考えるが、①平成三十一年度の県への要望活動の内容は。②平成三十一年度の県の整備計画内容と整備に対する本市の認識は。

答 建設部長 ①平成三十年八月の沼津市建設事業要望では、本市重点要望の一つとしたほか、十月に実施した、市長が会長を務める沼津・土肥間道路整備促進期成同盟会要望には、戸田、三浦地区の各連合自治会長が同行し、地元の声を直接届ける

等、要望活動を行った。②県の整備方針により、交通量の多い沼津市街に近い区間から順次整備を進めており、平成三十一年度も、西浦地区の五カ所で整備を進めていく予定と聞いている。本道路は、地域住民の生活道路のみならず、風光明媚な観光道路であるとともに、戸田地区の振興を図る上でも重要な道路であることから、引き続き、全線における円滑な交通の早期確保を、県へ働きかけていきたいと考えている。



▲道路拡幅工事などが行われている県道沼津土肥線